

2024 年 11 月 8 日

小林製薬株式会社 2024 年 12 月期第 3 四半期 決算説明会 質疑応答要旨

Q：国内のインバウンド除きの内需は、2Q（4-6 月）から 3Q（7-9 月）にかけて減速していないのか？

A：糸ようじ・歯間ブラシの自主回収影響を除くと、2Q のトレンドから大きくは変化しておりません。

Q：中国大陸は 3Q（7-9 月）で▲30%と苦戦しているようだが、足元の業績はどうか？またそれは計画に対してどうなのか？加えて 4Q（10-12 月）の想定は？

A：8 月以降広告を再開しており、9 月は前年比 105%で、計画に対しても想定通りです。4Q は気温影響を受けるカイロの業績次第ですが、増収の想定をしております。

Q：広告再開時期について教えてほしい。また、国内の広告は再開していないのに、なぜ中国大陸の広告は再開したのか？

A：国内の広告再開時期については未定です。中国大陸については、現地での調査や感度を確認した上で、広告再開を決めました。

Q：広告再開となる際には、効率化していけるか？広告停止前は連結で広告比率 11~12%程度だが、今後はどれくらいの比率を想定しているか？

A：カテゴリーによって、広告停止影響に大小があり、日用品は比較的軽微だと確認できています。広告再開の際には、広告停止影響をしっかりと分析した上で、効率を高めていきたいと考えています。広告比率など定量的なイメージはお伝え出来ませんが、広告を含めたキャッシュフローは再考していきたいと考えています。

Q：特別損失はどの程度増えたのか？「合理的な見積もり範囲」はどう変わったのか？改めて説明を頂きたい。

A：紅麹関連製品回収等に伴う特別損失は 2Q 累計 79 億から、22 億を追加計上し、3Q 累計で 101 億となりました。

特別損失の主な項目は 3 つです。

1 つ目は、紅麹コレステヘルプ等、BtoC で販売していた製品の回収費用です。返品・廃棄にかかる費用や、お客様への返金にかかる費用、製品回収をお願いする広告費用などが含まれています。これらは概ね 9 月末までに織り込み済ですが、現在も回収広告は続いておりますので、こちらは今後、追加計上する可能性がございます。

2 つ目は、BtoB で販売していた紅麹原料の回収費用です。各取引先様からいただいている請求内容や協議状況などを踏まえて、今後発生が見込まれるものも含め、現時点で合理的に算出

可能なものを計上しております。今後、各取引先様と協議を進める中で、想定よりも多くお支払いする必要がある場合や、新たに請求をいただいた際には、今後、追加計上する可能性がございます。

3つ目は、健康被害にあわれた方への補償です。補償内容としては、医療費、交通費、慰謝料、休業補償、後遺障害による逸失利益が該当しますが、8月19日から補償対応窓口を開設して以降、お客様から多くの問い合わせをいただいております。それらの内容を踏まえて、現時点で合理的に算出可能なものを計上しております。こちらもBtoBと同様、今後、お客様との話し合いの中で想定よりも多くお支払いする必要がある場合や、新たに請求をいただいた際には、追加計上する可能性がございます。尚、項目毎の具体的な金額については非開示とさせていただきますが、監査法人とも協議の上、適切に計上しております。

3Q（7-9月）で特に増えたのは2点目の企業様向け紅麹原料の回収費用と、3点目の健康被害にあわれたお客様への補償です。

Q：特別損失の追加計上は、今後少なくなっていくか？急に増えるようなことはあるのか？

A：今後も追加計上の可能性はございますが、急激に増えることはないと考えております。

Q：糸ようじ・歯間ブラシの自主回収での、売上利益への影響は？パッケージ変更品の出荷により10月以降の売上が増える見込みなのか？

A：回収に伴う売上への影響は5億、利益への影響は3億です。10月から随時出荷しております。

Q：決算資料5ページの健康被害補償（入通院）の進捗状況について。判定済約250件の内、補償の対象は何件か？

A：件数の詳細につきましては、回答を控えさせていただきます。

Q：決算資料4ページの死亡が関連するお問い合わせ数において、調査完了した43件の中で明らかに因果関係があるケースはない、とのことだが、補償対象にこの43件は含まれていないという理解でよいのか？

A：ご遺族の方と個別にやり取りさせていただいており、回答は差し控えさせていただきます

Q：インバウンドは1Q：24億、2Q：26億、3Q：23億の推移になっており、3Qは少し減速しているように見えるが、中国大陆での広告停止影響は出ていないか？来期のインバウンドの想定は？

A：19年比で見ると、2Qのトレンドから大きくは変化しておりません。中国大陆の方の比率も大きく変わっておらず、広告停止の影響はほとんど見られておりません。来期のインバウンド想定については、訪日者数次第にはなりますが、今年と同程度だと考えております。

Q : 国内と国際のカイロの4Qの上振れ/下振れリスクを教えてください。

A : カイロについては、今後の気温次第ですが、現在公表している目標を目指しております。

以上

【注意事項】

本資料に記載されている内容は、説明会での質疑応答内容をそのまま書き起こしたのではなく、当社の見解により加筆・修正等を加えて要約したものであり、その情報の正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがございます。なお、業績見通しや将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な不確定要因により大きく異なることがある旨、ご了承ください。